JP Patent First Publication No.01-273086

TITLE:DISPLAY DEVICE

Abstract:

PURPOSE: To compact and lighten the whole device by providing a tilt stand and a holder for fixing a display unit on a wall or hanging it behind a display unit case in freely attachably and detachably.

CONSTITUTION: When the title device is set in stationary state, the four projections 221 provided on the fixing member 21 of the tilt stand 2 are fitted into recessed fitting parts 111W114 from below, so that the display unit 1 and the tilt stand 2 forms one body, and the display unit 1 is placed on a desk with the aid of a placing member 22. When the device is changed to a wall type, the tilt stand is removed, and the upper bent edge parts 311 and 321 of the frames 31 and 32 of the holder 3 are fitted into recessed fitting parts 115 and 116 from above, and at the same time the frames 31 and 32 are bent to the opposite side of the case 11, bottom bent edge parts 312 and 322 and the projection 331 of a fastening plate 33 are fitted into the recessed fitting parts 111W114, so that the display unit 1 and the holder 3 forms one body, and the display unit 1 is hung on a wall, etc., with a hook fitting 34.

**BEST AVAILABLE COPY** 

## ⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

## @ 公 開 特 許 公 報 (A) 平1-273086

⑤Int. Cl.⁴	識別配号	庁内整理番号	@公開	平成1年(198	39)10月31日
G 09 F 9/00 G 06 F 1/00 H 04 N 5/64	3 1 3	6422-5 C Z -7459-5 B F -7605-5 C 審査	未請求	請求項の数 4	(全8頁)

**公発明の名称** ディスプレイ装置

②特 願 昭63-103466

②出 願 昭63(1988) 4月25日

@発 明 者 清 水 孝 志 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 内

⑩発 明 者 河 野 岳 人 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

の出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

個代 理 人 弁理士 井桁 貞一

#### 明福福

# 1. 発明の名称

ディスプレイ装置

## 2. 特許請求の範囲

(I) 据え置き、壁掛け及び吊り下げの可能なディスプレイ装置であって、

要示ユニット(1)と、接要示ユニットを据え収 を状態で所定の角度傾斜可能に支持するチルト台 (2)と、桁記要示ユニットを壁などに掛けたり吊 り下げる支持具(3)とから構成され、

前記要示ユニット(1)は要示部(12)と該要示部を前面に収納しかつ背面下部に前記チルト台(2)及び支持具(3)に共用な取付け部(111~114)を有する価体(11)からなり、

前記チルト台(2)及び支持具(3)は前記表示ユニット背面の取付け部(111~114)に対し奢脱可能な係合部(211と331、311、312、321、322)をそれぞれ 値える

ことを特徴とするディスプレイ装置。

(2) 前記表示ユニット(1)を据え置き状態で所定 の角度傾斜可能に支持するチルト台(2)が、固定 部材(21)と敵置部材(22)とから構成され、

前記固定部材(21)は湾曲した板材からなり、その湾曲内側面に前記衷示ユニット団体(11)の背面下部に設けた取付け用凹部(11)~114)に嵌合する 突起(211)、湾曲外側面にガイドピン(213)をそれぞれ傾え、

前記載復配材(22)は机上などの平坦面に対するベース(221)と、抜ベース上に一体的に設けられ前記固定部材(21)を所定の角度傾斜可能に保持するガイド(1222)とからなる

ことを特徴とする額求項1記載のディスプレイ 装置。

(3) 前記要示ユニット(1)をີなどに掛けたり吊り下げたりする支持具(3)が、2本のフレーム(31,32)と止め板(33)とフック金具(34)とから構成され、

前記各フレーム(31,32)は金属線の両端を鉤形

に折り曲げた形状を有し、その両側の折曲線部(311,312と321,322)が前記 表示ユニット 値体(11)の背面下部及び上部に設けた取付け用凹部(113~116)に対する係合部を構成し、

前記止め板(33)は前記平行させた2本のフレーム(31,32)の下部を固定し、かつ上部に前記衷示ユニット 関体(11)の背面下部に設けた別の取付け用凹部(111,112)に篏合する突起(331)を値える金路板からなり、

前記フック会具(34)は前記平行させた 2 本のフレーム(31.32)の上部を固定し、かつフック用孔(341)を個える金属板からなる

ことを特徴とする請求項 1 記載のディスプレイ 装置。

(4) 前記表示ユニット(1)を望などに掛けたり吊り下げたりする支持具(3)が、3本のフレーム(31.32.35) と各1個の止め板(33)及びフック金具(34)と2本のステー(36)と各2個のスライダ(37)及び固定ポルト(38)とから構成され、

前記3本の内2本のフレーム(31,32)は金属線

の両端を钩形に折り曲げた形状を有し、その両側の折曲端部(311,312と321,322)が前記表示ユニット団体(11)の背面下部及び上部に設けた取付け用凹部(113~116)に対する保合部を構成し、残りのフレーム(35)は砕状を有し、その下部両端が前記2本のフレーム(31,32)の下側の折曲コーナに回転自在に支持されてなり、

前記止め板(33)は前記平行させた2本のフレーム(31,32)の下部を固定し、かつ上部に削記表示ユニット医体(11)の背面下部に設けた別の取付け用凹部(111,112)に嵌合する突起(331)を備える金属板からなり、

前記フック金具(34)は前記平行させた 2 本のフレーム(31.32)の上部を固定し、かつフック用孔(341)を備える金属板からなり、

前記 2 個のスライダ (37) は前記 2 本のフレーム (31.32) に個別に挿通されて設フレーム上を摺動 自在に設けられ、

前記 2 個のステー(36) は各々前記枠状フレーム. (35) の上部両端と前記 2 個のスライダ(37) との間

3

に接続され、

前記2個の固定ポルト(38)は前記2個のスライグ(37)に、それらをフレーム(31,32)上に固定するように設けられている

ことを特徴とする請求項 1 記載のディスプレイ 装置。

### 3. 発明の詳細な説明

(概 要)

据え置き、製掛け及び吊り下げの可能なフラッ トタイプのディスプレイ装置に関し、

表示ユニット全体を最小寸法にかつ軽量化して、 机上での据え置き空間を小さくし、壁などにも小 さな力で掛けたり吊り下げたりできるようにする ことを目的とし、

このディスプレイ装置は、表示ユニットと、接要示ユニットを据え置き状態で所定の角度傾斜可能に支持するチルト台と、 前記表示ユニットを整などに掛けたり吊り下げる支持具とからなり、前記表示ユニットは要示部と譲衷示部を前面に収納

しかつ背面下部に前記チルト台及び支持具に共用な取付け部を有する版体とからなり、前記チルト台及び支持具は前記表示ユニットの箇体背面の取付け部に対し着脱可能な係合部をそれぞれ傾える 構成とする。

#### (産業上の利用分野)

この発明は、ディスプレイ装置に係り、とくに 据え歌き、望掛け及び吊り下げを可能にしたフラ ットタイプのディスプレイ装置に関する。

近年、OA機器の普及は目覚ましく、その出力 装置であるディスプレイ装置にあってはオペレー タの操作性向上の面で表示ユニットの機方向及び 縦方向の回転機能が不可欠な状況にある。

このディスプレイ装置において個え置き形式のものは、専有空間を被らし机上を有効に使える構造のものが要求され、それに応えて最近はCRTに代わってPDP. しCD. Eしなどのフラットタイプの表示部を組み込んだディスプレイ装置が提供されている。ところが使用環境によっては肌

上に選けない場合が出てくるので、机上のほか望などに掛けたり吊り下げたりする必要があり、そのため協え置き、壁掛け及び吊り下げの可能なディスプレイ装置の開発が領まれている。

#### (従来の技術)

上記した据え置き、盤掛け及び吊り下げを可能にした従来のディスプレイ装置として、第6 図に示すものが知られている。このディスプレイ装置はフラットタイプの表示ユニット I と、垂直方向の角度眼整機構付きのスタンド 4 とから構成される。

表示ユニット1は筐体11の内部に例えばPDPよりなる表示部12、表示駆動部及び電源(いずれも図示せず)を収納し、かつ筐体11の両側面に前記スタンド4の角度調整機構41を設けている。

スクンド4は金属線を折り曲げたアーム形状を 有し、その両側端部を前記角度調整機構41に取付 けることにより、表示ユニット1を据え置いた状態で所定の角度傾斜可能に支持する。

7

この発明は以上のような従来の状況から、衷示 ユニット全体を扱小寸法にかつ軽量に改良し、以 て机上での据え置き空間を小さくし、望などにも 小さな力で掛けたり吊り下げ可能にした新しいディスプレイ装置の提供を目的とする。

#### (課題を解決するための手段)

この免明のディスプレイ装置は、第1図に示すように、表示ユニット1と、接衷示ユニットを掲え置き状態で所定の角度傾斜可能に支持するチルト台2と、向記表示ユニット1を登などに掛けたり吊り下げる支持具3とから構成される。前記安示ユニット1は、表示部12を収納した壁体11の存面下部に前記チルト台2及び支持具3に共用な取付け部111~114を傾える。前記チルト台2及び支持具3は前記表示ユニット医体11の背面下部の取付け部111~114を傾える。前記チルト台2及び支持具3は前記表示ユニット医体11の背面下部の取付け部111~114に対しそれぞれ奇限可能な係合部211と331、311、312、321、322を備える。

さて、かかる雄衆のディスプレイ装置は、スタンド 4 を集 6 図 (4) 及び (5) の乗線に示す如く下側に 倒すと机上に据え置くことができ、第 6 図 (5) の二 点環線に示す如くスタンド 4 を上側に倒立させる と望などに掛けたり、吊り下げることができる。

ところがこの装置では、要示ユニット1に角度 四盤破構41を内蔵するため筺体11がその分だけ大きくかつほくなる。また表示ユニット1の重心近くに支点を設ける必要から第6図向に示す如くスタンド4が検方向に出っ張り、全体の機幅が大きくなる。

#### (発明が解決しようとする課題)

従って、アーム形状のスタンドを僻える従来のディスプレイ装置では、特に機幅が大きな形状となるので机上に据え置いた場合を考えると、依然として机上の比較的大きな空間を専有するという課題がある。また装置全体が比較的重いため壁などに掛けたりする場合、装置を持ち上げ吊り下げるのに大きな力を必要とする問題があった。

В

#### (作用)

この発明のディスプレイ装置は、表示ユニット 1の依体背面にチルト台 2 及び支持具 3 を若腱可能に設けている。従って、構造的には表示ユニット 1 は表示に必要な部品、例えば表示部と表示駆動部と電源を内蔵させるだけでよいので、それの経費方向の寸法を西面サイズ程度に設定できるとともに、重量を軽量化できる。

また操作面では、チルト台2及び支持具3は掴えてき、壁掛け及び吊り下げに応じて、 支示ユニット 酸体11の背面下部に設けた共用の取じであるい。 第2回に示す如くチルト台2を装かった場合、 第2回に示す如くチルトとに据えていた場合、 東元ユニット1をせなこととが可能である。 我3回に示す如く支持具3を装着した場合し、 我3回に示す如く支持具3を装着した場合とせずに 我3回に示すのよう。

#### (宴烙例)

以下この発明の好ましい実施例につき図面を参照して詳細に説明する。

第1図乃至第3図は、この発明の一実施例に任るディスプレイ装置の分解斜視図と、据え置き使用状態及び望掛け使用状態の要部断面図を示す。 これらの図において1は表示ユニット、2はチルト台、3は支持具である。

表示ユニット1は、第2図の要部断面図に示すように、前面が関口した変体11と、それの内部に収納されたフラットタイプの表示部(例えばPDP)12と表示駆動部13と電源14とフィルタ15とから構成されている。ここで表示ユニットは表示機能以外の余分な部品を偉えないので、全体を表示部の画面サイズに沿ったコンパクトでかつ軽量なものに構成できる。

この要示ユニット医体11の背面下部には、前記チルト台2及び支持具3の取付けに共用する4個の取付け用凹部111~114が下向きに形成され、また背面上部には前記支持具3の取付けのみに用

いる 2 個の取付け用凹部115.116 が上向きに形成されている。

一方、塩丸置き用のチルト台 2 は、同じく 第 2 図に示すように、これを前記表示ユニット 1 に取付けるための固定部材 21 と、 遊及示ユニット 1 を 所定の角度(例えば前方向に 5 度、後ろ方向に15 度)傾斜可能に支持する超電部材 22とから構成されている。

このチルト台の固定部材21は、図に示す如く海曲した合成樹脂の板材からなり、その湾曲内側面の上端部及び略中央部に表示ユニット1の取付け用凹部111~114 に篏合する4個の突起211、同じく内側面の下流部に表示ユニット版体11の底部を支持する突出部212、そして湾曲外側面の中央部に後述する角度可変用のガイドピン213、コイルバネ214、フッシャ215、止めネジ216を頒えている。

またチルト台 2 の敬愛部材22は、机上などの平 坦面に対する据え聞き用ベース221 と、前記固定 部材21を所定の角度傾斜可能に保持するためのガ

1 1

イド孔22b 付き溶曲傾斜面22a を有するガイド222とを、合成樹脂を用いて一体的に形成した構造からなる。前配ベース221 の溶曲傾斜面22a に設けたガイド孔22b は傾斜方向に沿った長孔であって、この中に前配固定部材21のガイドピン213 が挿入され、挿入したピン213 の幅部にコイルバネ214を挟んだ2枚のワッシャ215 を嵌入して止めよジ216を施す。これによって載置部材22と固定部材21とは一体化し、なおかつ固定部材21が載置部材21の傾斜弯曲面22a に沿ってガイド孔の規制範囲内で探動自在に構成される。

また、壁掛け及び吊り下げ用の支持具3は、第1 図及び第2図に示すように、2本のフレーム31.32と、止め板33と、フック金具34との一体構造からなる。2本のフレーム31.32はいずれも金属線の両端を約形に折り曲げた形状からなり、その上側の長めの折曲端部311.321 が耐記表示ユニット 関体11の背面上部に設けた取付け用凹部115.116 に、下側の短めの折曲端部312.322 が同ユニット 医体11の背面下部に設けた取付け用凹部113.114

1 2

に嵌合される。

南記止め板33は、平行させた前記2本のフレーム31、32を固定し前記表示ユニット1の庭体背面に協定するためのもので、金属坂の両端部を折り曲げて抜フレーム下部に溶接固定する一方、上部に表示ユニット 液体11の背面下部に設けた取付け用凹部111、112 に嵌合する2個の突起331 を頒える。また前記フック金具34は、同じく平行状態の2本のフレーム31、32を固定し壁などに掛けたりあり下げたりするためのもので、2個のフック用孔341 を形成した金属板の両端部を加記止め板33の野銀で放フレームと略に固定している。

さて、以上のように構成された表示ユニット1 とチルト台2と支持具3とからなるディスプレイ 装置の使用例について説明する。

まずディスプレイ装置を据え置き形にセットする場合、チルト台2の固定部材21に設けた4個の突起211を、前記表示ユニット団体11の背面下部に設けた4個の取付け用凹部111~114に下方から嵌合する。これにより表示ユニット1とチルト

台2とは一体化し、この状態で収置部材22により 要示ユニット1を机上に据え取くことが可能にな る。ここで要示ユニット1は自選によりチルト台 2と結合状態を保つが、チルト台の固定部材21を ネジなどを用いて置体11に固定するよう構成して おけば双方はより強固に一体化できる。

次ぎに表示ユニット1を塑掛け形に変更する場合、表示ユニット資体11の背面からチルト台2を取り外してから、その箇所に存在する2個の取付け用凹部115.116に対し支持具3の2本のフレーム31、32の上側折曲端部311、321を上方より嵌合する。そして各フレーム31。32を僅かに上方向に移動させ、この状態でフレームを磁体11と反対側に提ませながらフレーム下側の折曲端部312、322及び止め板33の突起331を箔管体11の背面下部に設けた4個の取付け用凹部111~114に同時に嵌合する。これにより東示ユニット1と支持具3とは一体化し、この状態でフック金具34により東示ユニット1を壁面などに引っ掛けたり吊り下げることができる。尚、この場合も止め板33をネジな

どを用いてユニット位体11に固定するよう構成し ておけば双方はより強固に一体化できる。

第4図及び第5図は、登掛け及び吊り下げ用支 待具の変形例を示す斜視図と使用状態図である。 この例の支持具が、先に述べた実施例の支持具と 異なる点は、要示ユニットを望などに掛けた状態 で所定の角度傾斜可能にした点である。

そのためフレーム31.32 と止め板33とフック金 具34の他に、1本の枠状フレーム35と2本のステー36と各2個のスライダ37及び固定ポルト38とを 付加している。そして複枠状フレーム35の下部阿 端を前記2本のフレーム31.32 の下側の折曲コーナに回転自在に支持し、かつ上部両端に前記ステー36の一端を回転自在に支持し、同じく上部に前 記フック金具34を固定している。 前記ステー36の 他端は前記スライダ37に回転自在に支持され、線 スライダ37は前記フレーム31.32 に挿通され線フレーム上を探動自在であり、前記固定ポルト38は 級スライダ37の動きを固定するものである。

第5図(a)、(a)及び(c)は、2本のフレーム31.32

1.5

上におけるスライダ37の位置を矢印方向(類4図 参照)に移動し変化させた状態を示し、このよう にスライダ位置の可変によりフレーム31.32 に対 するフレーム35の角度を変える結果、表示ユニット1を整5に掛けた状態で角度変化させオペレー タの操作状況に対処できる。

以上好ましい実施例について説明したが、この 発明の本質はこれに限定されないことは言うまで もない。

## (発明の効果)

以上説明したようにこの発明によれば、表示ユニットに対してチルト台と整掛け及び吊り下げ用支持具を着脱自在に構成したことにより、装配全体をコンパクトかつ軽量にし、最小の専有空間で机上などへ扱え配き、また軽快な操作で壁などへ掛けたり吊り下げたりすることができる。かかる効果は特にフラットタイプのディスプレイ装置に適用して大きい。

1 6

#### 4. 図面の簡単な説明

第1回は、この発明に係るディスプレイ装置の 一実施例を示す斜視図、

第2図及び第3図は、上紀ディスプレイ装置の 使用形態を示す要部断面図、

第4回及び第5回は、ディスプレイ装置の壁掛け用支持具の変形例を示す斜視図と使用状態図、

第6図は、従来のディスプレイ装配を説明する ための図である。

第1図~第6図において、

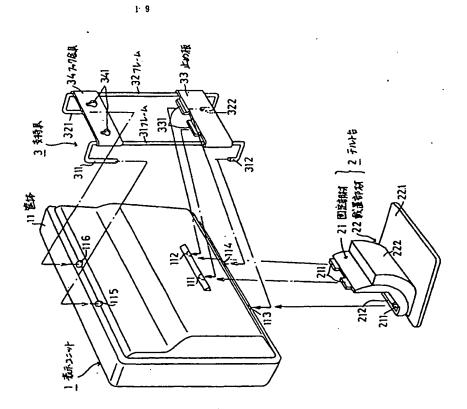
38は固定ポルト、

】は泉示ユニット、 2とチルト台、 3 は支持具、 4 はスタンド、 5 は壁、 11は田体、 12は衷示部、 13は表示駆動館、 14は食額、 21は固定部材、 22は乾涩部材、 31.32.35はフレーム、 33は止め仮、 34はフック金具、 36はステー、 37はスライダ、

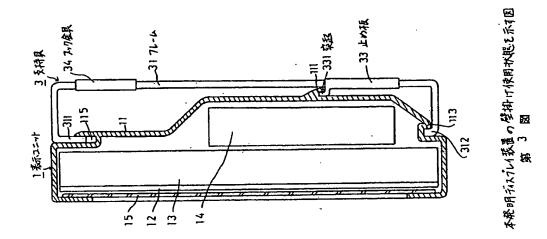
41は角度調整機構、

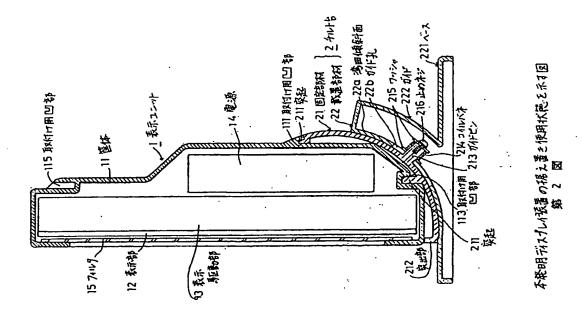
- 211 はチルト台取付け用突起、
- 111 ~114 はチルト台/支持具取付け用凹部、
- 115.116 は支持具取付け用凹部をそれぞれ示す。

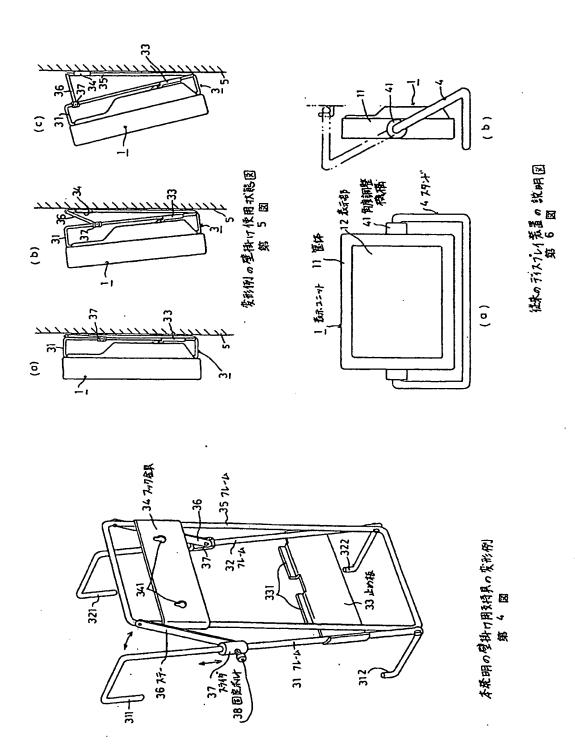
代理人 弁理士 井 桁 頁 一 芸報



本発明のデスプレイ装置の説明







# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

# **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS .	
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES	
☐ FADED TEXT OR DRAWING	
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING	
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES	
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS	
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS	
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT	
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY	
□ other:	

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.